



# 2025年度 Aコースについて



～ 中学入試のおもしろい！をみつけよう ～

## <ねらい>

入試に出題される重要実験を実際に体験し、**入試理科を楽しく・得意分野**にすることにあります。「**楽しいから学びたくなる**」この姿勢は受験を志す子どもたちにとっても大切なことです。中学入学後にも継続する、**本物を学ぶ姿勢の体得**を本コースでは目指しています。感動を伴う体験は、学校や塾などの学習に先駆けて経験しておく方が、お子様に効果的に定着する傾向があります。このため、小学校4年生・5年生の方には月2回の受講をお勧めいたします。6年生の内容も**4年生でも楽しく理解できるように実施**してまいります。

## <2025年度 神奈川／東京 中学入試出題傾向 約200校対象> [分析 アインシュタインラボ]

2024年度の入試では地震・火山・地球温暖化・環境問題・新型コロナウイルスなど、現在世界が直面している事象に関する問題が幅広く取り上げられました。分野別の出題傾向に関しては、実験・観察を扱う出題が約8割、化学分野・物理分野では、昨年に続き**9割以上が実験に関する出題**となりました。内容をみると、例年同様 物理・化学・生物・地学分野は、まんべんなく基本問題として出題されています。また、長文や実際のデータを読み、**現象の説明・予測をさせる出題**が増えています。注意したいところは、各中学校がそれぞれの**特色を出す応用問題**です。興味深い出題例としては、以下のような出題が上げられます。

- 中学の理科につながる分野 … 「気圧配置・地震波などの気象庁のデータを読んで考察する」「化学反応式の分子モデルによる記述を理解し回答する」「乾湿計の使い方」「状態図グラフ（縦軸気圧・横軸温度）から物質の状態を理解し考察する」「アボガドロ数の理解（高校で学習）」など
- ※2024年度は特に、**中学高校で扱う分野の内容が数多くみられました。**
- 身近なものからの出題… 「胃腸薬の成分・薬品の製造工程」「発電機のしくみ」「電子レンジの仕組み」「心臓・腎臓・肺の仕組み」「ダイオード・コンデンサーの理解」「レジ袋有料化の理由」など

これらの間に対応するためには**自分から面白いと興味をもち、現象と現象を関係付けて調べていく**など、分野の壁や教科書にとらわれない積極的な姿勢が大切になってきます。

2025年度の**アインシュタインラボの授業**では、小学校で行う基本的な実験はもちろん、**最新の時事問題**にも対応できるよう、各分野の**実験**を取りそろえております。お子様の科学的な考え方が自然に育まれ、**受験およびその後の将来**にきっとお役にたてると自負しております。



### 卒業生の感想

先生方の授業はとても面白く、分かりやすかったので、科学に興味を持つことができた。

(横浜サイエンスフロンティア 合格)



4年間ラボでたくさんのことを学びました。毎回楽しく、実験に必要な知識が楽に身についたと思います。

(中央大学附属中 合格)

いろいろな器具を使って実験を行ったことで、問題を頭の中にイメージしやすくなり、理解しやすくなりました。

(栄光学園合格)

文字や数値のみのつまらない単元も、仲間や先生との実験を通じて、より深く原理を理解できた。また理科が得意・得点科目となった。(桜蔭 豊島岡合格)

<Aコースのようす>



### 保護者の感想

息子が4年生の時、塾の理科がさっぱり分らないと言い出し、理科実験教室を3つほど体験した中で、こちらの教室に決めました。毎月授業の日が楽しみでしかたなかったようです。塾での成績も理科が分からないと言っていたのに一番の得意科目になりました。本当に助けていただきました。(卒業生 保護者)

大変長い間お世話になり、ありがとうございました。念願の学校に合格し、大好きな理科と工作三昧の日々となりそうです。モチベーションを高くキープして受験にサクセスできたのも、アインシュタインラボで「おもしろい！楽しい！！」の感覚をたくさん体験できたおかげだと確信しております。(卒業生 保護者)

